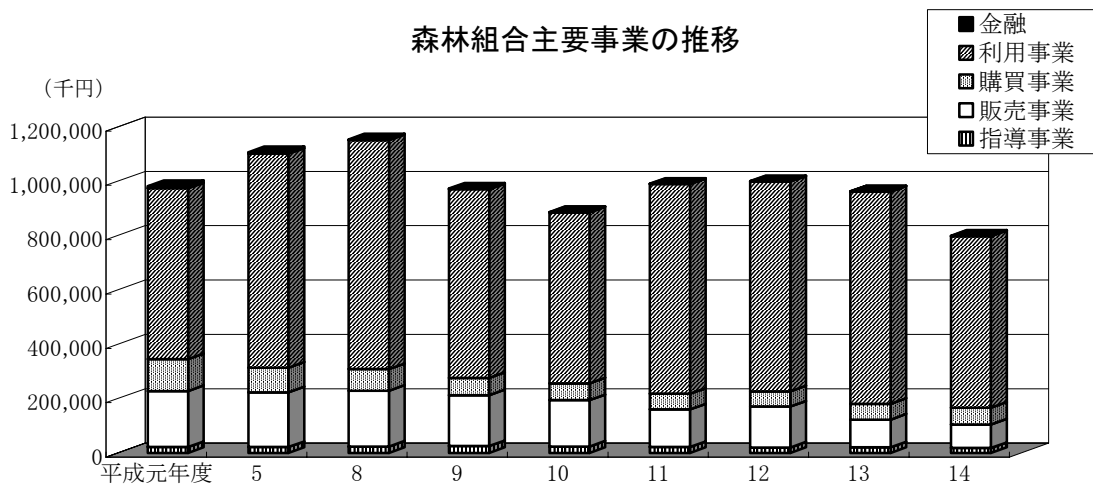
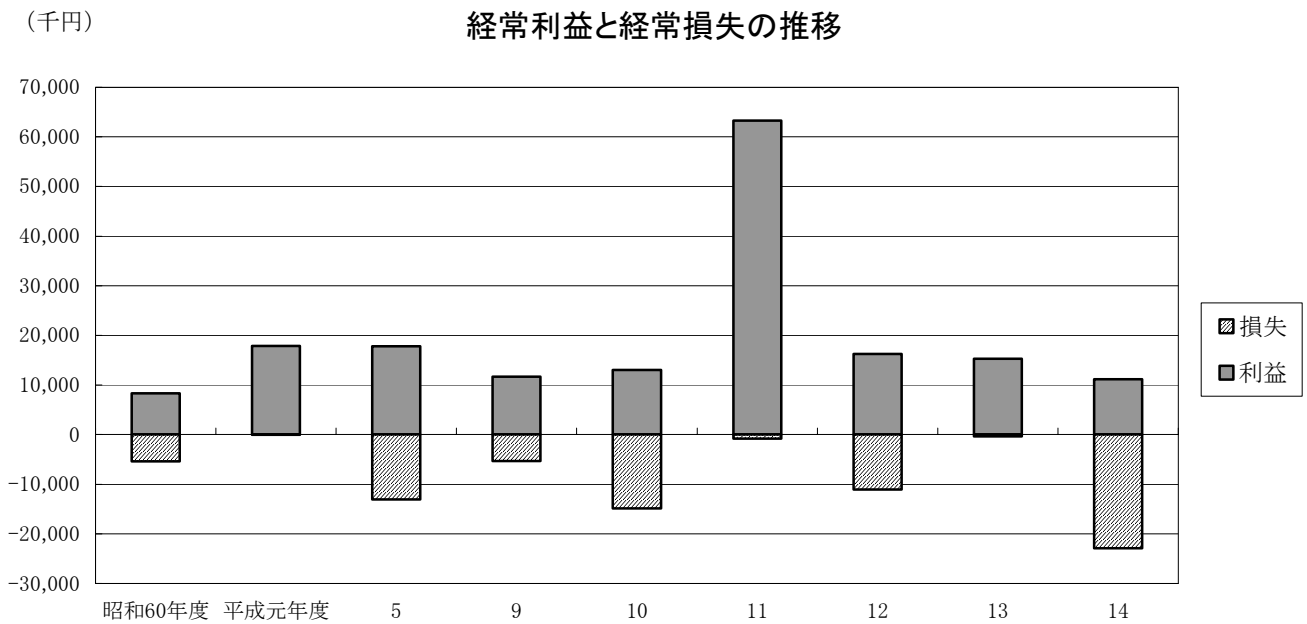


3. 林業経営と県営林

(1) 森林組合



平成14年度末の活動組合は、19組合あり、組合員数17,480人で、1組合平均の組合員数は920人となっている。

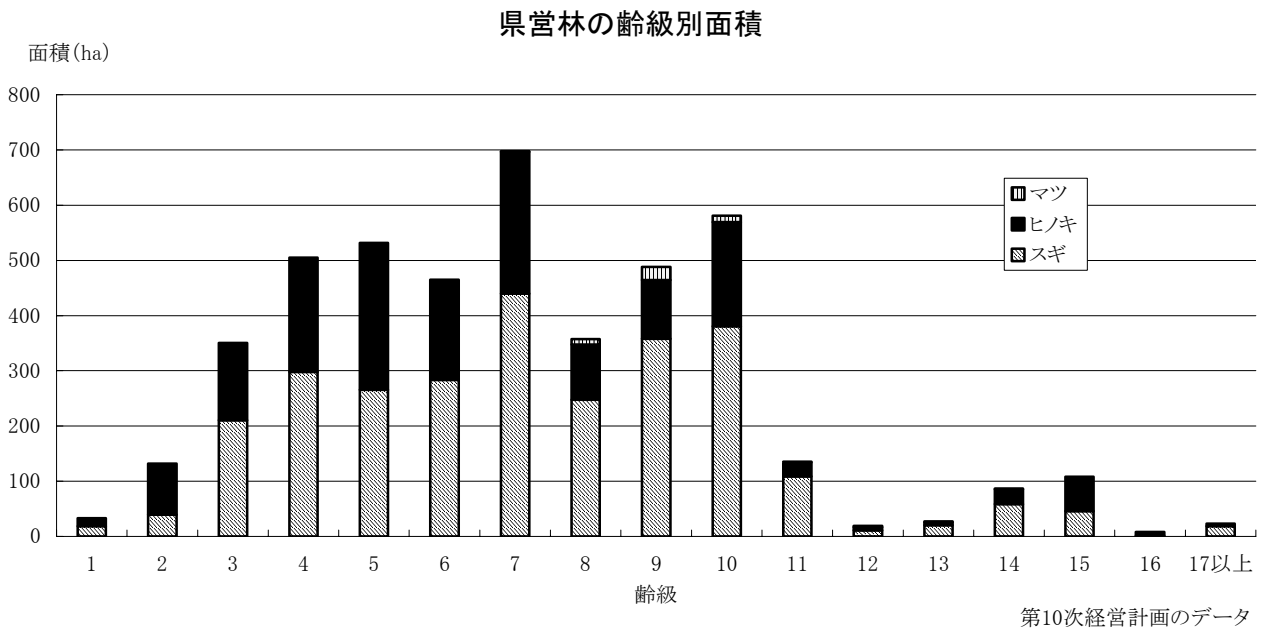
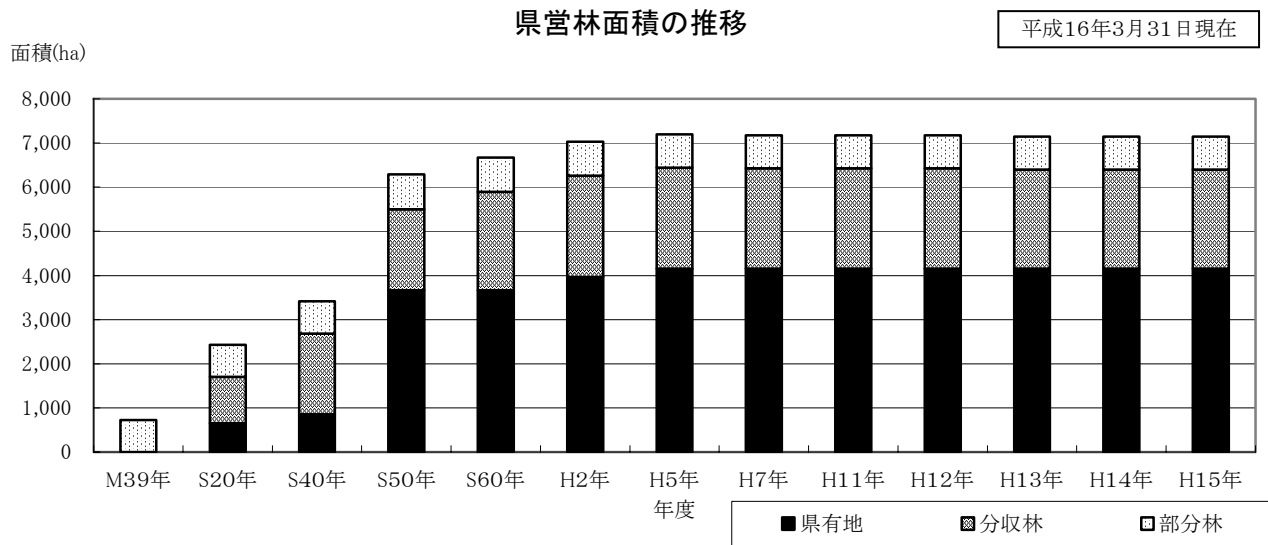
また、地区内の森林所有者の加入率は32%で全国平均（49%－平成13年度末）より低い。組合員所有森林面積は40,402haで、組合活動の民有林面積に占める割合は29%である。

払込済出資金額は、127,381千円（1組合平均6,704千円）であるが、1千万円を超える組合は3組合に過ぎず、百万円以下の組合が8組合あり、組合間の経営規模、事業展開に大きな較差が生じている。

経常損失を計上している組合は7組合で前年度の3組合から4組合、その損失額も3,269千円と増加した。一方、経常利益を計上している組合は、12組合11,166千円であり、1組合当たり931千円で前年度比3%増加した。

(2) 県 営 林

— 県営林の整備をさらに推進 —



県営林は、森林経営を通して、木材の安定的な供給、県土の保全、水源かん養等の森林の有する公益的機能の維持増進、地域の振興、県基本財産の造成等を行っている。大半は、県中南部に位置し、平成15年度末の面積は、7,147ha（県有林4,158ha・分収林2,240ha・部分林749ha）で前年度より増減は無い。地域別面積は、安房・夷隅地区（南部林業事務所管内）2,873ha、市原・君津地区（中部林業事務所管内）4,251ha、長生・香取地区（北部林業事務所管内）22haとなっている。

造林面積は、15年度実績で5.98ha（再造林5.79ha・拡大造林0.19ha）あり、保育は、621haを実施した。また、林産物については、素材1,980m³等売り払い25,324千円の収入を得た。